

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 2月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500091		
法人名	社会福祉法人 たちばな福祉会		
事業所名	たちばな苑グループホーム		
所在地	広島県呉市倉橋町14948番地 (電話) 0823-54-1516		
自己評価作成日	令和3年2月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500091-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年2月24日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

たちばな苑グループホームは広島県の最南端（呉市倉橋町）にあり、温暖で景色の良い自然環境に恵まれたホームです。広い敷地内には特養、デイサービスセンター等が併設されています。行事クラブ等を一緒に行っています。また、地域の行事にも参加し交流をはかっています。コロナ禍において今のところ出来ていません。グループ独自では、天気の良い日は散歩に出かけ山羊に餌をあたえたり、四季折々の草花を鑑賞し楽しんでいます。毎月一度は管理栄養士と一緒に入苑者様の希望にそっておやつ作りを行ったり、誕生者がおられる時は誕生会を行っています。健康管理は西亀診療所と毎日連絡をし、早期発見、早期治療に努めております。職員は各担当部屋の整理、整頓、話し掛け等を行い御家族様には近況報告を行い一人ひとりに寄り添ったケアに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

敷地内は、特別養護老人ホーム、デイサービスなどがあり、コロナ禍で交流が少なくなった昨今ではあるが、事業所内で出来るリハビリ訓練、おやつ作り、レクリエーションなど実施している。地域や家族との繋がりを大切にし、春の花見や体育祭など催しを開催し、地域行事に参加することにより、地域交流を深めるよう取り組んでいる。法人内の研修体制の充実やホームが目指すべき方針が明確化され、理念でもある家庭的雰囲気のある楽しい生活を支援するケアを管理者をはじめ職員にも浸透され日々実践している。利用者を第一と考え、地域に選んで頂ける、どこにも負けないホームづくりを目指し、利用者のケアについて、職員間で話し合いを重ねることで、良質なケアの向上に尽力している。職員個々の希望時間に応じた勤務体制などの配慮があり、法人の思いで働きやすい職場づくりに力を入れている。

自己評価	外部評価	項目(グループ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	引き続き時に理念を唱和し理念に沿ったケアが出来る様心がけています。	法人の基本としての行動指針を全事業所で統一しており、朝の合同朝礼にて業務目標とともに唱和している。毎月のミーティングに加え、苑長を交えてのミーティングを行い直に方針や考えが共有でき実践に努めている。職員の誕生月には個人目標を掲げ、掲示することで意識することが習慣となっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	一昨年は、ドライブ、地域の祭り盆踊り等に参加していましたが、コロナ禍の現在は地域の神社へ天気の良い日には少人数で散歩を行っています。	地域の方も苑のことをよく知っており、周辺の散歩コースなどへ出向くことで、気軽に声を掛けてもらうなど関係が出来ている。現在、コロナ禍で出来ていないが、法人の祭りには地域の方が多数参加している。近隣ボランティア、実習生を積極的に受け入れ、地域に馴染んだ活動参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見でサービス向上に活かしている。	買い物やドライブに出かけたりしていましたが、現在はコロナ禍において出来ていません。外出することが出来ませんでした。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見でサービス向上に活かしている。	取り組み等を報告したり、利用者様と一緒に行事を楽しんでいただいたり、アドバイスを受け質の向上に努めています。	年2回は、行事や日頃の様子をビデオで流し活動内容がよく伝わる工夫をしている。市の担当課から「コロナ禍での会議のあり方」のアドバイスを受けて、議事録を送付している。その都度、メンバーに電話や相談など対応し、市の担当課や民生委員のアドバイスを運営に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議が開催されず毎回、資料作成し送付させていただきました。	市の担当課へは主に事務所の介護支援専門員がパイプ役となっている。市の担当課より事業所の空き状況の相談を受けたり、認定調査や生活保護担当者、事業運営をする上で判断に困ったことや疑問点があれば必要に応じて連絡を取り確認やアドバイスを頂いている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束のないケアを心がけています。玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めて行っています。委員会で身体拘束利用者の検討を行っています。	法人内の身体拘束廃止委員会のメンバーが中心に年4回実施している。法人内で開催する事で、他事業所の取り組み状況を把握する機会にもなっている。玄関の施錠は、職員体制や夜間のみ施錠する場合があるが、自由と安全のバランスに考慮し開放している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	併設特養の勉強会に参加しています。虐待が見過ごされることがないように注意し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	併設、特養の勉強会に参加しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分に説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応し理解、納得をして頂き契約を結んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しています。また、電話で御家族のご意見をお聞きしながら、解決し納得をして頂いています。	年2回の家族会の実施や担当職員から毎月ホームでの近況報告を送付している。年2回の家族アンケートを実施し意見を聞く機会を設けている。家族からコロナ禍の要望で「散髪をさせたい」声から職員の元美容師が対応するなど反映した事例がある。現在、オンライン面会の準備をしている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月一回の職種会議、月一回の苑長とのミーティング職員での毎月のミーティングを行っています。</p>	<p>毎月の職員会議やミーティングなどで話し合いが行われている。職員寮を単身用、家族用と完備し、職員個々の希望時間に応じた勤務体制などの配慮があり、法人の思いで働きやすい職場づくりに力を入れている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務目標があり達成にむけて主任が指導したり職員同士でアドバイスしたりして、やりがいのある職場を目指しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の力量に応じた研修の機会を確保し法人全体で取り組んでいます。又資格修得の促進にも取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修を通して同業者との意見交換の機会を持ち、課題の見直しをしてケアの質の向上に努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>居宅との連携を密にして事前訪問し家庭環境を把握し、本人家族とのコミュニケーションを大切にして不安を取り除くようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前訪問、見学に来て頂き本人の要望と話をよく聞き対応を行っていましたが現在は担当ケアマネージャーから情報を収集しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	CM. サービス事業所、家族、本人とケアカンファレンスを行いグループホームに来る前の様子を把握しサービス計画しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除、食事の準備、片付け、洗濯物たたみクラブ散歩等を一緒に行い本人の出来る事をしてもらい張りのあるその人にあった支援をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	以前は、面会時に利用者、家族、職員も入り話をよく聞きお互いの理解を深めていましたが、現在は行えていません。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご利用者様の生活環境が変わらないように家庭で使っていた寝具、飾り物を使用しています。	年賀状の送付や家族の協力を得ながら外出や外泊をしている。併設の事業所に入所している友人に会いに行くことやクラブ活動で触れ合えるなど馴染みの人や場との繋がりを感じられるようにしている。地域の行事に参加したり買い物へ行くことで地域との関係性も構築された支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の性格、行動を把握しより良い関係作りに努めています。共同生活の場、リビングで食事、おやつ、誕生会、レクリエーション、体操等しながら利用者様同士の交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	季節毎の案内状を出しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを精一杯引き出すように生活歴、対話を密にしたり、個別ケアに努めています。暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ利用者主体の暮らしを支援しています。	利用者個々の希望である編み物、絵などは反映され、情報共有しながら可能なことは実現できるように支援している。個人の意向や趣味に沿い、習字や法話などクラブ活動においてできることを個別に行えるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族、居宅サービス事業所と連携を取り、経過などに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの日誌に毎日の状況を記録しています。出来る事、出来た事は継続できるように話しかけています。又、体調変化の早期発見に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族、職員、管理者などで話し合い本人が望むことや残存機能の維持向上を図りながら最良のケアができるように計画をたてています。	毎月のミーティングで話し合い常にケアに反映できるようにしている。計画作成時は担当者会議で本人をはじめ家族、職員の意見を交え作成し職員で共有し毎月のモニタリングで振り返りも行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日誌、引継ぎノート個別記録に記入しミーティングを行い検討し計画を見直し実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	以前は併設施設のクラブ、行事に参加していましたが、現在はグループホームでのリハビリ訓練、誕生会、おやつ作り、レクリエーション等で利用者同士の交流を図り楽しんで頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	以前は、運営推進会議を通じて民生委員の協力を得たり、消防署の立会いのもとで防火訓練を行っていましたが今現在出来ていません。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	早期発見、早期治療に努め、かかりつけ医の診断を定期的に受け適切な治療を行っています。	理事長が医師であり、併設の特別養護老人ホームの看護師の協力体制があることで適切に医療の対応が行え、協力医院に毎日利用者の様子を報告している。体調不良時は、医師や家族と相談し迅速な対応をしている。他の病院受診などは家族対応をお願いしている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 看護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師、緊急な場合も医師看護師が対応できるよう支援しています。本人、家族の希望を聞き受診の支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時は、医療機関に情報を提供し退院が決まれば退院前カンファレンス情報を提供してもらい退院後のケアに備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用者、家族にとって最適な終末期ケアが出来る様かかりつけ医と連携を図りながら家族、職員と話し合い対応について検討しています。	マニュアルの整備や看取りの研修も実施している。希望があれば看取りを行っている。入居前に終末期ケアについての同意書を説明し意向も確認している。状態の変化に応じて、その都度話し合いを重ね、希望を聞きながら行っている。希望があれば家族も寝泊まりを可能としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	併設施設の勉強会に参加し、応急処置、初期対応の勉強会をしています。必要に応じて職員を集めて知識・技術の習得に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の消防署の指導のもと併設施設と合同訓練を行っています。年一回の夜間訓練は地域の消防団にも参加してもらって行っていましたが、コロナ禍で今は出来ていません。防潮堤の設置で高潮等の災害にも備えています。	風水害マニュアルを整備している。海岸付近であり、防潮堤など備えがある。3日分の備蓄を準備し、年6回の防災訓練を実施し、防災意識を高めるよう取り組んでいる。年1回の夜間訓練は、地域の消防団の参加、協力をお願いしている。熱心に取り組まれた成果で表彰された経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入所時にはプライバシー保護についてオリエンテーションを行っています。利用者の尊厳を守るため、生活歴を把握し特に言葉遣いに配慮し対応しています。	日頃から入室時はノックをすることやお辞儀、ケア中はドアをしっかり閉める、羞恥心への配慮など基本的な部分を意識した取り組みに努めている。個々の介助方法マニュアルの中にも言葉掛けが盛り込まれており、言葉掛けについても周知、徹底が図られケアを実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常にコミュニケーションをもち、利用者の言葉を傾聴し思いをしっかりとくみ取る。わかりやすく工夫した話し掛けを行い自己決定できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の性格、行動等を把握しより良い関係作りに努めています。したい事を体調に合わせて、個々のペースで出来る様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	以前は、併設施設に来る美容院に行かれてましたが、現在は美容師の経験のある職員がカットをしています。また希望にそった服を選んで着て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	年二回の嗜好調査で好みを把握し献立に生かしています。食事の準備片づけ等出来る人には手伝って頂いています。	3食とも併設の特別養護老人ホーム厨房より届いている。年2回の嗜好調査の実施や季節毎の行事食の提供により、食事を楽しめる工夫をしている。普段の手作りおやつに加え、月1回は管理栄養士と一緒に利用者と職員が共同で作っている。野菜づくりを行い、収穫した食材を美味しく頂いている。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体調を崩された時に食欲不振の時には、好物の物を提供しています。主食を粥にしたり副食を刻みなどにしています。定時以外の水分補給の話し掛けや水分摂取量の少ない方には随時いろいろな飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、歯磨きうがいを個別に行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録をとり、一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレの話し掛け誘導を行いながら自立に向けて支援しています。	4カ所の共同トイレを使用し居室内にポータブルトイレの設置はしない方針で取り組んでいる。トイレに座ることを基本とし個人のペースで声掛け誘導を行っている。月1回のミーティングでモニタリングを実施し、例えば、歩行が可能となれば日中はオムツ外しもできるように対応を重ねている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々の食事水分摂取量に注意しながら、散歩や体操の話しかけをし運動不足解消に努めています。医師の指示により服薬も行っています。排泄記録などで3日排便が出ていなければ下剤の処置等を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者の状況に応じてリフト浴シャワー浴をするなどしています。入浴日はありますが利用者様のペースに合わせて個別に対応しています。	週2回、午前・午後に入浴を行い、一人ひとりの状態を把握し、リフト浴、シャワー浴などの選定により、体調に合わせた入浴支援をしている。開放的で植木が眺められるお風呂がある。入浴日以外の週2回の足浴効果から皮膚トラブルが軽減された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(グループ1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの個室を用意し、自宅から馴染みの布団寝具等を持ち込んで頂き自宅に近い環境で寝て頂けるよう自由にご自分のペースで過ごして頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の指示説明を引き継ぎノートに記入して確認しています。症状の変化等については医師、看護師と連携を取っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	グループホーム独自では利用者様の生活歴に応じた習字、お茶、絵、体操等のレクリエーションに参加して頂き洗濯物たたみ散歩園芸おやつ作り動物のふれあい等好みに応じて行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には散歩を行い季節の草花等に触れたりしています。以前は月二回の買い物等にご家族も参加して一緒に外出して頂けてましたが現在は行っていません。	近くの神社や散歩コースを回り季節の草花に触れたり、飼育している山羊を見に行ったりしている。現在、コロナ禍で外出は出来ていないが、ドライブを兼ね買い物へ行くなど日常の外出がある。年2回ドライブを企画し桂浜へ行き、現地で家族に合流し交流を持った外出となっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	以前は月二回の買い物の時にご自分で支払いして頂いてましたが現在は行っていません。		

自己評価	外部評価	項目(グループ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>公衆電話を設置し何時でも電話が出来るようにしています。家族との連絡ノートを作り連絡を密にしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地の良い落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう自然環境が取り入れられ玄関には季節の花等を植えたり季節感を味わえるよう工夫しています。リビングは日当たりがよく清潔で明るい空間になっています。</p>	<p>落ち着いた開放的な造りの空間である。リビングに自動販売機が置かれているユニットもあり家族が来所時に気軽に購入できたり、廊下の各所に座る場所がある。毎年の干支の絵を利用者が共同で作成し壁面に掲示している。清潔にする、物を置かないなど快適に過ごせるよう配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食堂は何時でも気軽に過ごせる自由空間になっています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時には本人の使い慣れた物、大事にしている物等を持ってきて頂いて居心地よく過ごせるようになっています。</p>	<p>ベッド、床頭台、家具調椅子、空調が設置されており広めのクローゼットにて収納にも余裕があることで衣装を多く持参される利用者もいる。入居前には必ず見学をお願いし、使い慣れたものや調度品などは自由に持ち込みができる。年2回の家族会時は、衣類の点検を家族をお願いしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内容は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており手摺も設置しトイレも随所に設置しトイレ表示もわかりやすく、話しかけて自立をうながし安全に利用できるようになっています。</p>		

V アウトカム項目(グループ1) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	引き続き時に理念を唱和し理念に沿ったケアが出来る様心がけています。		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	一昨年は、ドライブ、地域の祭り盆踊り等に参加していましたが、コロナ禍の現在は地域の神社へ天気の良い日には少人数で散歩を行っています。		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	買い物やドライブに出かけたりしていましたが、現在はコロナ禍において出来ていません。外出することが出来ませんでした。		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	取組み等を報告したり、利用者様と一緒に行事を楽しんでいただいたり、アドバイスを受け質の向上に努めています。		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	運営推進会議が開催されず毎回、資料作成し送付させていただきました。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	併設特養の勉強会に参加し、身体拘束のないケアを心がけています。玄関の施錠は必要な時のみ時間を決めて行っています。委員会で身体拘束利用者の検討を行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	併設特養の勉強会に参加しています。虐待が見過ごされることがないように注意し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	併設、特養の勉強会に参加しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分に説明し、質問にはわかりやすく丁寧に対応し理解、納得をして頂き契約を結んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しています。また、電話で御家族のご意見をお聞きしながら、解決し納得をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月一回の職種会議、月一回の苑長とのミーティング職員での毎月のミーティングを行っています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務目標があり達成にむけて主任が指導したり職員同士でアドバイスしたりして、やりがいのある職場を目指しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の力量に応じた研修の機会を確保し法人全体で取り組んでいます。又資格修得の促進にも取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修を通して同業者との意見交換の機会を持ち、課題の見直しをしてケアの質の向上に努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>居宅との連携を密にして事前訪問し家庭環境を把握し、本人家族とのコミュニケーションを大切にして不安を取り除くようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前訪問、見学に来て頂き本人の要望と話をよく聞き対応を行っていましたが現在は担当ケアマネージャーから情報を収集しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	CM. サービス事業所、家族、本人とケアカンファレンスを行いグループホームに来る前の様子を把握しサービス計画をする。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	掃除、食事の準備、片付け、洗濯物たたみクラブ散歩等を一緒に行い本人の出来る事をしてもらい張りのあるその人にあった支援をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	以前は、面会時に利用者、家族、職員も入り話をよく聞きお互いの理解を深めていましたが、現在は行えていません。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご利用者様の生活環境が変わらないように家庭で使っていた寝具、飾り物を使用しています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様の性格、行動を把握しより良い関係作りに努めています。共同生活の場、リビングで食事、おやつ、誕生会、レクリエーション、体操等しながら利用者様同士の交流を図っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	季節毎の案内状を出しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしさを精一杯引き出すように生活歴、対話を密にしたり、個別ケアに努めています。暮らしの中から得られる情報をケアにつなげ利用者主体の暮らしを支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族、居宅サービス事業所と連携を取り、経過などに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの日誌に毎日の状況を記録しています。出来る事、出来た事は継続できるように話しかけています。又、体調変化の早期発見に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族、職員、管理者などで話し合い本人が望むことや残存機能の維持向上を図りながら最良のケアができるように計画をたてています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日誌、引継ぎノート個別記録に記入しミーティングを行い検討し計画を見直し実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	以前は併設施設のクラブ、行事に参加していましたが、現在はグループホームでのリハビリ訓練、誕生会、おやつ作り、レクリエーション等で利用者同士の交流を図り楽しんで頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	以前は、運営推進会議を通じて民生委員の協力を得たり、消防署の立会いのもとで防火訓練を行っていましたが今現在出来ていません。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	早期発見、早期治療に努め、かかりつけ医の診断を定期的に受け適切な治療を行っています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 看護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医の看護師、緊急な場合も医師看護師が対応できるよう支援しています。本人、家族の希望を聞き受診の支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時は、医療機関に情報を提供し退院が決まれば退院前カンファレンス情報を提供してもらい退院後のケアに備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用者、家族にとって最適な終末期ケアが出来る様かかりつけ医と連携を図りながら家族、職員と話し合い対応について検討しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	併設施設の勉強会に参加し、応急処置、初期対応の勉強会をしています。必要に応じて職員を集めて知識・技術の習得に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の消防署の指導のもと併設施設と合同訓練を行っています。年一回の夜間訓練は地域の消防団にも参加してもらって行っていましたが、コロナ禍で今は出来ていません。防潮堤の設置で高潮等の災害にも備えています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入所時にはプライバシー保護についてオリエンテーションを行っています。利用者の尊厳を守るため、生活歴を把握し特に言葉遣いに配慮し対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	常にコミュニケーションをもち、利用者の言葉を傾聴し思いをしっかりとくみ取る。わかりやすく工夫した話し掛けを行い自己決定できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の性格、行動等を把握しより良い関係作りに努めています。したい事を体調に合わせて、個々のペースで出来る様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	以前は、併設施設に来る美容院に行かれてましたが、現在は美容師の経験のある職員がカットをしています。また希望にそった服を選んで着て頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	年二回の嗜好調査で好みを把握し献立に生かしています。食事の準備片づけ等出来る人には手伝って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>体調を崩された時に食欲不振の時には、好物の物を提供しています。主食を粥にしたり副食を刻みなどにしています。定時以外の水分補給の話し掛けや水分摂取量の少ない方には随時いろいろな飲み物を提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨きうがいを個別に行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり、一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレの話し掛け誘導を行いながら自立に向けて支援しています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の食事水分摂取量に注意しながら、散歩や体操の話しかけをし運動不足解消に努めています。医師の指示により服薬も行っています。排泄記録などで3日便秘が出ていなければ下剤の処置等を行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の状況に応じてリフト浴シャワー浴をするなどしています。入浴日はありますが利用者様のペースに合わせて個別に対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの個室を用意し、自 宅から馴染みの布団寝具等を持 ち込んで頂き自宅に近い環境で 寝て頂けるよう自由にご自分 のペースで過ごして頂いてま す。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>医師の指示説明を引き継ぎノー トに記入して確認しています。 症状の変化等については医師、 看護師と連携を取っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>グループホーム独自では利用者 様の生活歴に応じた習字、お茶 、絵、体操等のレクリエーション に参加して頂き洗濯物たたみ 散歩園芸おやつ作り動物のふ れあい等好みに応じて行ってい ます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には散歩を行い季 節の草花等に触れたりしています 。以前は月二回の買い物等にご 家族も参加して一緒に外出して 頂けてましたが現在は行って いません。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>以前は月二回の買い物の時にご 自分で支払いして頂いてまし たが現在は行って行っておりま せん。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループ2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	公衆電話を設置し何時でも電話が出来るようにしています。家族との連絡ノートを作り連絡を密にしています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地の良い落ち着いた雰囲気でごせるよう自然環境が取り入れられ玄関には季節の花等を植えたり季節感を味わえるよう工夫しています。リビングは日当たりがよく清潔で明るい空間になっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食堂は何時でも気軽に過ごせる自由空間になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時には本人の使い慣れた物、大事にしている物等を持ってきて頂いて居心地よく過ごせるようになっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内容は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物内部はバリアフリーになっており手摺も設置しトイレも随所に設置しトイレ表示もわかりやすく、話しかけて自立をうながし安全に利用できるようになっています。		

V アウトカム項目(グループ2) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 たちばな苑グループホーム

作成日 令和3年4月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ過において、運営推進会議の開催が難しく、意見があまり聞けない。	通信機器（FAX、電話等）などを利用し連絡を密に行う。	地元の自治会長や女性会長、家族等に参加して頂く様にする。	随時
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。